

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第22週の発生動向

風しん(全数把握対象)の報告が1例あり、22週までの累積報告数が19例となった。今週の1例は宮崎市保健所からの報告で、30歳代であった。ワクチン接種歴はなかった。

定点医療機関からの報告総数は819人(定点あたり23.4)で、前週比99%と横ばいであった。

前週に比べ大きく増加した疾患はなかった。減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

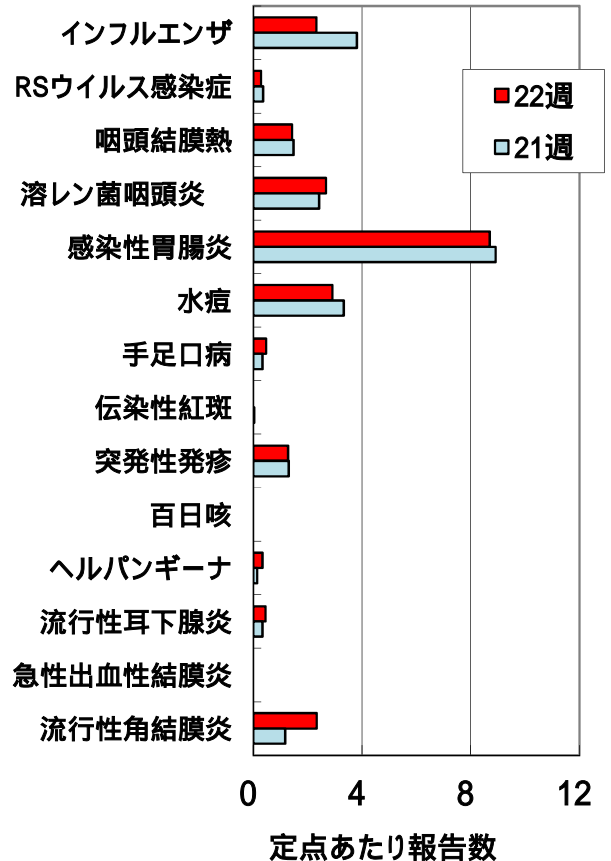
【インフルエンザ】

・報告数は137人(2.3)で前週比61%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値(0.76)の約3倍である。減少が続いているが例年同時期と比較して高い。延岡(5.6)、高鍋(4.0)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の24%、6-9歳が26%、10-14歳が41%、15-19歳が4%、20歳代から50歳代が4%、60歳以上が1%を占めた。

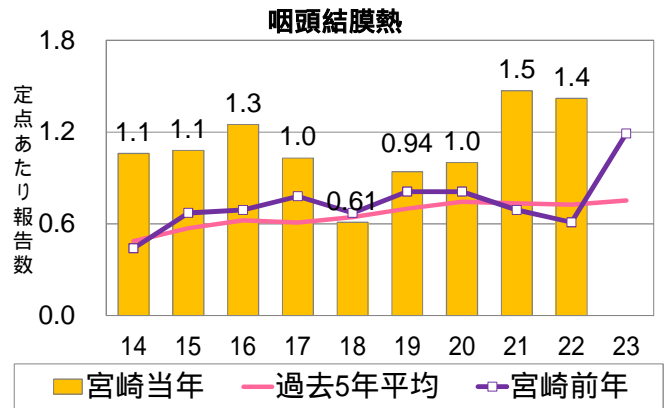
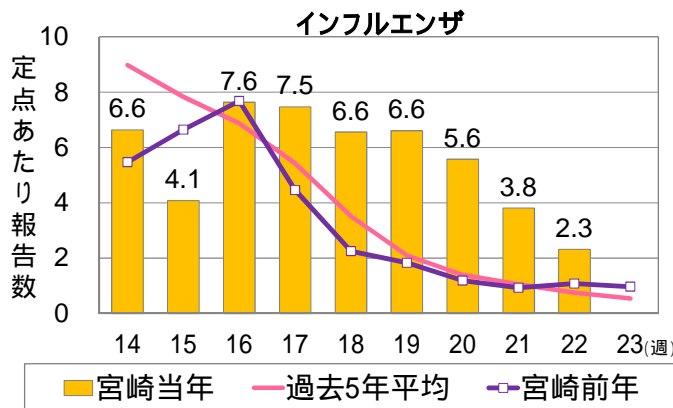
【咽頭結膜熱】

・報告数は51人(1.4)で前週比96%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値(0.72)の約2倍である。昨年11月から例年と比較して高い状態が続いている。延岡(2.5)、宮崎市・日南(各2.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

(前週との比較)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



基幹定点からの報告

マイコプラズマ肺炎：延岡保健所から2人報告された。患者は1歳と5歳であった。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.3)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
 2 類感染症： 結核 3 例。
 3 類感染症： 報告なし。
 4 類感染症： 日本紅斑熱 1 例。
 5 類感染症： クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、風しん 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	肺結核	咳、痰
		都城	50歳代	無症状病原体保有者	-
		日南	80歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	咳、胸痛、呼吸困難
4類	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	-	発熱、刺し口、発しん、肝機能異常
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	70歳代	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病	進行性認知症、ミオクローヌス、小脳症状、無動性無言状態、記憶障害、精神・知能障害
	風しん	宮崎市	30歳代	臨床診断例	発しん、発熱、リンパ節腫脹 ワクチン接種歴：なし

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 25 年 6 月 2 日までに検出）

細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Manhattan(O8(O6):d:1,5)	60歳代	女			便	2013.5.22
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT1,2)	60歳代	女	2013.5.22	無症状 (夫からO157:H7 VT1,VT2検出)	便	2013.5.27

今年度初めて、家族内感染と思われる60代の女性から、腸管出血性大腸菌 O157:H7 VT1,2が検出された。昨年同時期にはすでに7名から腸管出血性大腸菌が検出されていて、昨年に比べると減少傾向にある。病原微生物検出情報(IASR)によると、全国的にも昨年7月に牛生レバ-の提供が禁止されて以降、O157の報告数は減少しており、特に15歳未満の年齢群で減少が顕著であると報告されている。なお、腸管出血性大腸菌感染症の発生は、例年8月頃がピークであることから、今後も引き続き発生動向には注意していく必要がある。

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
ライノウイルス	1M	女	2013.5.8	肺炎、下気道炎、呼吸困難	咽頭ぬぐい液	2013.5.31

肺炎と診断された乳児からライノウイルスが検出された。

全国第 21 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 16.6 で、前週比 94%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

咽頭結膜熱の報告数は 2,015 人(0.64)で、前週比 131%と増加した。佐賀県(2.7)、鹿児島県(1.6)、宮崎県(1.5)からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 2,003 人(0.64)で、前週比 128%と増加した。福岡県(3.7)、沖縄県(2.9)、島根県・佐賀県・熊本県(各 2.4)からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

全数把握対象疾患（全国第 21 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	366 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	37 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	4 例				
4類感染症	E 型肝炎	2 例	A 型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	6 例	デング熱	5 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	15 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	ウイルス性肝炎	4 例	急性脳炎	3 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	23 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	梅毒	20 例	破傷風	2 例
	風しん	673 例	麻しん	9 例		

* 風しん：大阪府(204 例)、東京都(112 例)、兵庫県(85 例)、神奈川県(61 例)からの報告が多い。九州の状況：福岡県(15 例)、鹿児島県(14 例)、熊本県・宮崎県・沖縄県(各 2 例)、大分県(1 例)。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第22週(05月27日～06月02日)

疾病名		第21週	第22週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	225	137	18	29	39		16	24	1	10	
	定点あたり	3.81	2.32	1.13	2.90	5.57	0.00	3.20	4.00	0.50	1.67	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	10		2	3			1		4	
	定点あたり	0.36	0.28	0.00	0.33	0.75	0.00	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	53	51	23	4	10	7		2		3	2
	定点あたり	1.47	1.42	2.30	0.67	2.50	2.33	0.00	0.50	0.00	0.75	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	87	96	12	8	45	12	3	5		8	3
	定点あたり	2.42	2.67	1.20	1.33	11.25	4.00	1.00	1.25	0.00	2.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	321	313	75	85	18	25	44	28	4	32	2
	定点あたり	8.92	8.69	7.50	14.17	4.50	8.33	14.67	7.00	4.00	8.00	2.00
水痘	報告数	120	105	36	3	14	17	12	9	6	7	1
	定点あたり	3.33	2.92	3.60	0.50	3.50	5.67	4.00	2.25	6.00	1.75	1.00
手足口病	報告数	12	17		4	7	3		1		1	1
	定点あたり	0.33	0.47	0.00	0.67	1.75	1.00	0.00	0.25	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	47	46	12	7	7	2	6	7		3	2
	定点あたり	1.31	1.28	1.20	1.17	1.75	0.67	2.00	1.75	0.00	0.75	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	12		2	2	1				7	
	定点あたり	0.14	0.33	0.00	0.33	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	1.75	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	12	16	3	4	1	1		4		3	
	定点あたり	0.33	0.44	0.30	0.67	0.25	0.33	0.00	1.00	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	14	10	4							
	定点あたり	1.17	2.33	3.33	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		2			2						
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～22週)

2類感染症	結核	112例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	つつが虫病	4例	日本紅斑熱	3例(1)	レジオネラ症	6例
5類感染症	アメーバ赤痢	6例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	1例	梅毒	3例	破傷風	3例
	風しん	19例(1)				

()内は今週届出分、再掲